

小学生高学年の部



世界中にきれいな水を

石巻市立中里小学校 5年 遠藤 由菜

「キュッ」

蛇口をひねれば、いつもきれいな水が出てきます。私たちは、蛇口から出てくる水を飲んだり手を洗うことに使うなど、生活のいろいろな場面で使っています。みなさんはいつも蛇口からきれいな水が出てくることを当たり前だと思っていませんか。私は以前見たニュースできれいな水を得られずに困っている国がたくさんあることを知り、世界の水問題についてもっと調べることにしました。

世界では、約六億六千三百人の人が今も安心して飲める水を得ることが出来ず、不衛生で汚れた水を使っています。この汚れた水は、川や池、湖などからくんできて、生活水として使っています。のどがかわいたときには、水道がない国の人々は、どんなに汚なくてもこの水を飲むしかありません。そして、泥や細菌がふくまれる汚れた水を飲むことで、毎日たくさんの子どもたちが命を落しています。

この事実を知り、世界中の全ての国がきれいな水を飲めるようにするにはどうすればいいのだろうと思いました。そこで大学生のお姉ちゃんに聞いてみると、

「世界のえらい人たちが、SDGs というものを作って、取り組んでいるんだよ。」と教えてくれました。SDGs は、「持続可能な開発目標」のことですべての人にとって、より良い世界をつくるための世界共通の十七個の目標です。その中に、「六、安全な水とトイレを世界中に」というものがありました。この目標はだれもが安全な水を使うことができるようにするためにつくられていました。日本は六番目の目標の一つである、水道、トイレの整備がほぼ百パーセントととても高いです。私はSDGs について初めて知りましたが、この十七個の目標はとても大切だと思いました。二〇二三年までの目標となっているけれど、もっと早くに日本のような水道やトイレのせいが世界中に広まればいいなと思いました。

しかし、小学生の私には世界中に水道を通して、きれいな水を飲めるようにすることはできません。では今の私には何ができるのでしょうか。それは、毎日生活の中で使う水を大切にすることです。例えば、汚れた水を流さないことです。私はお手伝い有的时候に、せんざいをたくさん使わないようにするために、お風呂洗いでは初めに水洗いをします。お皿洗いの時は、お皿に付いた汚れを取ってから洗うようにしています。そうすることで、きれいな水を守ることができます。他にも水のむだ使いをしないようにすることも大切です。手を洗う時やお風呂にはいるときは、こまめに水を止めるようにしたいです。また、トイレの水を流すときは、引くレバーを「大」じゃなく「小」を使うように気を付けたいと思います。私ができることは一つ一つがとても小さいことですが、水をいつも大切に使うことで世界の水問題を意識できます。

私はこの作文を通して、世界の水問題やSDGs について初めて知り、水の大切さについて気付くことができました。これからは、蛇口から出てくる水に感謝してすごしていきたいと思っています。